様式第1号の5 (第4条関係)

設計内容説明書 非住宅用(増築・改築等)

建築物の名称		
建築物の所在地		
建築士氏名	建築士番号	
審查員氏名		

建築基準法への適合性の確認※	建築基準法の規定違反の有無	□無	

認定	確認		設計內容説明欄※		設計内容
事項	項目※	項目	設計内容	記載図書	確認欄
0. 基	計算方法	用いた計算法	□ 標準入力法 □ モデル建物法	口入力シート	
本事項	基本事項	地域の区分	□ 1地域 □ 2地域 □ 3地域	□建築概要書	
			□ 4地域 □ 5地域 □ 6地域	□平面図	
			□ 7地域 □ 8地域	□断面図	
		階数	・地上()階、地下()階		
		敷地面積	( ) [ m²]		
		延べ面積	( ) [ m²]		
		年間日射地域区	( ) 地域		
		分	注)太陽光発電又は太陽熱利用設備導入時		
			のみ		
		地域熱供給等利用	・他人から供給された熱の一次エネ換算値		
			冷熱()、温熱()		
1. 標	室仕様	室仕様	・標準入力法入力シート様式1による	□機器表	
準入力	空調設備	空調ゾーン	・標準入力法入力シート様式 2-1 による	□系統図	
法		外壁構成	・標準入力法入力シート様式 2-2 による	□平面図	
		窓仕様	・標準入力法入力シート様式 2-3 による		
		外皮	・標準入力法入力シート様式 2-4 による		
		熱源	・標準入力法入力シート様式 2-5 による		
		2次ポンプ	・標準入力法入力シート様式 2-6 による		
		空調機	・標準入力法入力シート様式 2-7 による		
	換気設備	換気室	・標準入力法入力シート様式 3-1 による		
		換気送風機	・標準入力法入力シート様式 3-2 による		
		換気空調機	・標準入力法入力シート様式 3-3 による		
	照明設備	照明	・標準入力法入力シート様式4による		
	給湯設備	給湯室	・標準入力法入力シート様式 5-1 による		
		給湯機器	・標準入力法入力シート様式 5-2 による		
	昇降機	昇降機	・標準入力法入力シート様式6による		
	太陽光	太陽光発電	・標準入力法入力シート様式 7-1 による		
	コジェネ	コーシ゛ェネレーション設備	・標準入力法入力シート様式 7-3 による		
	PAL*	非空調外皮	・標準入力法入力シート様式8による		
2. モ	基本情報	建築物用途等	・モデル建物法入力シート様式 A による	□機器表	
デル建		計算対象部分面積		□系統図	
物法		空調対象床面積		□平面図	
		外周長			
		非空調コア部			
	外皮仕様	開口部仕様	・モデル建物法入力シート様式 B1 による		
		断熱仕様	・モデル建物法入力シート様式 B2 による		
		外皮	・モデル建物法入力シート様式 B3 による		
	空調設備	空調熱源	・モデル建物法入力シート様式 C1 による		
		空調外気処理	・モデル建物法入力シート様式 C2 による		
		空調ポンプ	・モデル建物法入力シート様式 C3 による		
	1	空調送風機	・モデル建物法入力シート様式 C4 による		

	<b>福层凯供</b>	梅/亭	- エデル建物はませい。1 様式 D による		
	換気設備 照明設備	換気 照明	・モデル建物法入力シート様式Dによる		
			・モデル建物法入力シート様式 E による		
	給湯設備	給湯	・モデル建物法入力シート様式Fによる		
	昇降機	昇降機	・モデル建物法入力シート様式Gによる		
	太陽光	太陽光発電	・モデル建物法入力シート様式Hによる		
	コジェネ	コーシェネレーション設備	・モデル建物法入力シート様式Iによる		
3 . そ の他基	第1の1	再生可能エネル	□太陽光発電設備	□機器表	
進		ギー利用設備の設	□風力・水力・バイオマス等の発電設備	□平面図	
(第1又		置	□太陽光・地中熱利用設備		
は第 2			□河川水熱等を利用する設備		
のいず	forter at the state of	forter i i illia trat	□薪・ペレットストーブ等の熱利用		
れかに 適合)	第1の1	節水措置	□ 節水便器の設置	□機器表	
心口/	(右記項目		□ 節水水洗の設置	□平面図	
	のうち1項目以上適	五 4 株 の利田	□ 電気食器洗い機の設置		
	日 以 上 週   合)	雨水等の利用	│□ 雨水利用 │□ 井戸水利用		
	<u>'</u>		│□ 井戸水利用 │□ 雑排水利用		
			□ BEMSの採用		
		<b>人工</b> 不削減	日 BEMSの採用		
		蓄電池使用	再生可能エネルギーと連系した定置型蓄電		
			池の採用		
		ヒートアイランド	敷地緑化等		
		対策	□ 緑地又は水面の面積が敷地面積の		
			10%以上		
		ヒートアイランド	敷地の高反射性塗装		
		対策	□ 日射反射率の高い塗装の面積が		
		木造住宅・建築物	敷地面積の10%以上		
			屋上緑化等		
			□ 緑化を行う又は日射反射率等の高い		
			屋根材を使用する面積が屋根面積の		
			20%以上		
			壁面緑化等		
			□ 壁面緑化を行う面積が外壁面積の		
			10%以上		
			緑化等面積率+日射反射面積率+屋根緑化		
			等面積率×1/2+壁面緑化面積率≥10%		
			□ 木造建築物		
		立により、こか。			
		高炉セメント等の	□ 高炉セメント使用の有無		
		利用	<ul><li>□ フライアッシュセメント</li><li>□ 高炉スラグ又はフライアッシュを</li></ul>		
			□ 高炉スラグ又はフライアッシュを   混和剤として利用		
		電気自動車充放電	四年		
		電気日動単元放電 設備の設置	日		
		以畑ツ以邑	・設置台数等(		
	第 2	所管行政庁の認め	□ (		
	NA 5	るもの	<u> </u>		
		-2 U V	/	l .	